

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ赤塚・赤塚第2支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	40%	10%	・放デイと生活介護のスペースの共有に課題あり。 ・第2教室が狭く感じる。 ・整理整頓でスペースの確保
	② 職員の配置数は適切であるか	50%	50%	0%	・利用者によっては足りないと感じる時もある。 ・日によって職員配置にバラつきがある。 ・見守り等安全重視
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	30%	20%	・バリアフリー化はできていない。 ・入口の段差を改善
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	80%	20%	0%	・目標に向け、経過結果の確認
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	70%	30%	0%	・各利用児の要望、意見の確認
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	60%	40%	0%	・これにより各業務に活かしていく
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%	80%	0%	・外部よりの評価を参考にする
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	90%	10%	0%	・虐待防止等の研修
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	90%	10%	0%	・客観的にとらえ計画する
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%	0%	・各利用児に合わせたアセスメント
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	90%	10%	0%	・月、週、日毎に目標、計画
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	90%	10%	0%	・各カリキュラムに工夫をする
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	80%	20%	0%	・土曜日、休日のカリキュラムの変化
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	90%	10%	0%	・子供の可能な状況に合わせる
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	70%	30%	0%	・外出時の適切な職員の配置
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	60%	40%	0%	・次の日にミーティングで話し合いをしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	・記録により更なる支援につなげている
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	・子供、保護者とのモニタリングによりその後の計画に活かす
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	70%	30%	0%	・基本活動に工夫し支援をする	
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	70%	30%	0%	・障害児相談支援担当との計画	

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	・学校からの申し送りを共有する
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	80%	20%	0%	・ケアが必要な利用児の対応の連絡
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%	0%	・利用児の経緯の確認
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	80%	20%	0%	・学校卒業し、各事業所への情報提供
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%	20%	0%	・児童発達支援センターとの連携
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	30%	70%	0%	・放課後児童クラブと交流をする
	㉖	協議会等へ積極的に参加しているか	30%	70%	0%	・協議会等への参加
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・保護者に都度状況の連絡
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	70%	30%	0%	・保護者への各内容の説明
保護者への説明的責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	90%	10%	0%	・支援の内容、状況の説明
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	・子供の内容を理解し、適切な対応
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	60%	40%	0%	・各活動により保護者同士の交流を図る
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	・十分な聞き取りを行い適切な対応をする
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	90%	10%	0%	・定期的な発信をする
	㉞	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	・個人情報に注意する
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	90%	10%	0%	・その日の活動等の報告
非常時の対応	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%	40%	10%	・地域住民との理解
	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	90%	10%	0%	・緊急時対応の明確化
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・定期的に避難訓練
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	100%	0%	0%	・虐待研修等の理解
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%	0%	・やむを得ず身体拘束をする場合の説明
	㊶	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	80%	20%	0%	・昼食等、アレルギーの対応
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	・ヒヤリハットを作成して活かしていく。